

発心

発心とは、はじめて自未得度先度他の心をおこすなり。
これを初発菩提心といふ。

感応道交するところに、発菩提心するなり。
諸仏菩薩の所授にあらず、みづからが所能にあらず、感応道交するに
発心するゆゑに、自然にあらず。

(正法眼蔵 発菩提心)

菩薩摩訶薩、常に勤めて是の菩提心を守護すること、
猶ほ世人の一子を守護するが如し。

(中略)

是の如くの菩提心を護るに因るが故に、阿耨多羅三藐三菩提を得。

(大般涅槃經二十五光明遍照高貴徳王菩薩品 正法眼蔵 発菩提心)

阿耨多羅三藐三菩提

仏が迷いを離れて覚智円満し、

平等の真理において知らないところがなく、
世間において無上であること。

(大修館書店)

平成二十五年九月十七日

見附市 平澤俊隆